

頑張る地方応援プログラムに応募する広川町のプロジェクトの変更について
プロジェクトを構成する具体の事業の取組のうち、事業費の変更が生じたので公表します。
尚、事業の内容、成果目標には関係ありません。

◆目的・概要

広川町は、昭和54年度から平成元年度まで財政再建準用団体に指定されていました。この経験はその後の行財政運営に活かされ、最小のコストで最大の効果を上げるよう徹底され今日に至っております。

近年町民のニーズは多様化し幅広い住民サービスが求められていますが、この質を落とさず、職員数を最小限に止め頑張っているところです。

平成19年度から始まった国の「頑張る地方応援プログラム」に基づき、乏しい自主財源を効率、効果的に活用し、子育てと高齢者の環境が整い安心して暮らせるまちづくり、災害に強い安全なまちづくり、及び農業等の担い手が元気の出せる環境づくりを目的として、以下の5つのプランを柱に「ガンバ元気なまちづくり」を推し進めます。

◆具体的な成果目標

・出生率(平成18年度 6.2%)

平成21年度 目標出生率 7.0%

・みかん生産トン数(平成18年度 6,630トン)

平成21年度 生産目標 7,500トン

◆プロジェクトの期間

・平成19～21年度

◆プロジェクトを構成する具体的な事業の取組

(単位:千円)

目的を達成する柱	内容	事業費
いきいき支援プラン	共働き世帯を支援するための学童保育室、高齢者の健康づくりのための介護予防室、その他図書室からなり、子どもと高齢者が交流できる「広川町なごみ交流センター」を旧保育所の建物を活用改修し、支援していくプランです。	74,979
災害に強いまちづくりプラン	南海東南海地震と同時に発生すると思われる津波から住民を守るため、防潮堤の改修、太陽光・風力型避難誘導灯、蓄電池内蔵型避難誘導灯を設置、また一時避難場所までの道路の改良等防災対策を進めるプランです。	617,941
農業元気いっぱいプラン	農業等を活性化させ、今以上に元気な生産体制の強化を図るため、各地区の基盤整備に要する費用の一部を助成すること、及び町の特産物の開発育成を奨励するプランで、具体的には、地区が事業実施主体となり実施する農道、及び用水路等の工事費の一部を助成するもの、及び町内の農林漁業から生産される素材を原料に加工される製品で、特に地域活性化に大きな効果が期待できるものに助成するものです。	49,980
I T 推進プラン	山間部においても都市部なみの情報通信基盤を確保するため、地上デジタル放送、インターネット、及び携帯電話の情報インフラ整備を実施し、住民の定着や新規定住者の移住を促進するプラン	233,656
稲むらの火継承プラン	安政元年の南海地震で大津波が広村を襲った際、濱口梧陵は稲むらに火を放ち、燃え上がる火を目印に安全な高台へと、暗闇で逃げ惑う村人を誘導しました。 津波から住民を守るため濱口梧陵が残してくれた「稲むらの火」を後世に伝えるため、平成19年4月に開館した濱口梧陵記念館と津波防災教育センターからなる「稲むらの火の館」を後生まで維持運営する。 また、防災教育の啓発をメインテーマとし、あわせて住民の健康づくりの推進、及び地域の活性化を目的として「梧陵まつり」を開催するものです。	72,910
合計		1,049,466

その他特記事項

--